



## アドビシステムズ株式会社が Web およびモバイルコンテンツのための 次世代オーサリングツール Adobe GoLive CS2 日本語版を発表

革新的な CSS レイアウトツールおよび オープンスタンダードに準拠した  
モバイルオーサリングをサポート

Adobe Creative Suite 2 との緊密な統合により、  
Web およびモバイル機器向けデザインの新時代へ

### 【2005年6月7日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 幹）は本日、Web コンテンツおよびモバイルコンテンツのためのパワフルなオーサリングツール「Adobe® GoLive® CS2 日本語版」を発表しました。同製品は、単体ソフトウェアとして、また同日発表の Adobe Creative Suite 2 日本語版（詳細は Adobe Creative Suite 2 日本語版発表プレスリリースをご参照ください）の構成製品としても提供されます。Adobe GoLive CS2 は、革新的な CSS レイアウト機能を備え、オープンスタンダードのサポートと Adobe Creative Suite 2 との緊密な統合により、充実したモバイルコンテンツ制作環境を実現します。Adobe GoLive CS2 を活用することで、Web デザイナーや Web デベロッパは、最新のモバイル機器に最適なコンテンツの制作、管理、および更新にスムーズに対応することができます。

Adobe GoLive CS2 日本語版は Macintosh® 版および Windows® 版ともに、2005 年 7 月上旬より、アドビストア（<http://www.adobe.co.jp/store/>）および全国のアドビ製品取扱い会社を通じて購入することができます。アドビストアでは、Adobe GoLive CS2 日本語版の予約受付を本日より開始します。また、アドビストアでのダウンロード販売も 7 月上旬から開始予定です。

### アドビストア提供価格（税込み、送料別）

#### Adobe GoLive CS2 日本語版（Macintosh 版／Windows 版）

■ 通常版	26,040 円	（本体価格 24,800 円）
■ アップグレード版*	12,705 円	（本体価格 12,100 円）
■ アカデミック版	9,660 円	（本体価格 9,200 円）

※アップグレード版購入対象者は、Adobe GoLive 6.0～CS 日本語版登録ユーザです。

なお、大規模な導入をお考えの方にお得なアドビライセンスプログラムをご用意しております。詳細は [www.adobe.co.jp/ao](http://www.adobe.co.jp/ao) をご参照ください。

アドビシステムズ社 社長兼最高執行責任者シャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は次のように述べています。「Adobe GoLive CS は、Web 向けに配信可能なものと、モバイル向けにオーサリング可能なものとの間の隔たりをなくすことで、異なるメディアに対応する、最先端のクロスメディアコンテンツオーサリングツールとなりました。Web の未来を牽引するのは、グラフィックを駆使したインターネットサービスを求める無数のモバイル機器ユーザであり、このコンテンツ革命の中核を担うのが Adobe GoLive なのです」

### **革新的なビジュアル CSS オーサリング**

Adobe GoLive CS2 は、簡潔かつ効率的な CSS コードを自動生成する一方で、視覚的な CSS デザイン環境を提供する新しい強力なツールで CSS の可能性を最大限に拓けます。あらかじめ設定された拡張可能な CSS ブロックオブジェクトを Web ページにドラッグ & ドロップして、手間のかかる CSS リキッドデザインも簡単に作成することができます。また、新しいレイヤーツール、レイアウトグリッドツール、およびテキストボックスツールを使って、CSS ベースのレイヤーとテキストボックスをインタラクティブに配置したりサイズを変えたりすることもできます。先進的なレイアウトグリッド、レイアウトテキストボックス、レイヤーのオブジェクトはすべて、デフォルトで CSS ベースのレイアウトを生成します。

### **オープンスタンダードに準拠したモバイルオーサリング**

Adobe GoLive CS2 はモバイル機器に対応するために、オープンスタンダードに準拠した包括的なモバイルオーサリングツールを搭載しており、モバイル機器向けレイアウト（CSS、XHTML）、マルチメディアと双方向性（SVG、SVG-t）、ビデオ（3GPP、MPEG-4）をサポートしています。SVG-t1.1 および 1.2 をサポートする新しい SVG-t エディタを使えば、Adobe Illustrator® CS2 などのアプリケーションで作成された SVG-t ファイルを利用し、SVG エlementとそのソースコードを素早く選択し、さまざまな双方向性を持たせることができます。

Adobe GoLive は堅牢な MMS メッセージング開発環境を備えています。また Adobe GoLive では、Sony-Ericsson 社と Nokia 社製の端末向けに、コンテンツをプレビューできる柔軟なデバイスエミュレーション機能が搭載されていますが、他社メーカーのモバイル機器をサポートするための拡張も簡単に行うことができます。ライブレンダリングエンジンには、Web 向けに開発されたコンテンツがモバイル機器上の表示をプレビューできる新しいオプションとして、スモールスクリーンレンダリング機能が搭載されています。日本市場向けには、株式会社 ACCESS の Net Front Mobile Content Viewer を Adobe GoLive CS2 にバンドルします（Windows 版のみ）。これにより、ACCESS の情報家電向けブラウザ NetFront の表示を GoLive CS2 内で正確にエミュレートが可能となり、NetFront 用に開発したコンテンツのチェックが簡単に行うことができます。

### **Adobe Creative Suite 2 との緊密な統合**

Adobe GoLive CS2 を活用することで、Web 向け印刷用コンテンツの再利用をこれまで以上に簡単に行うことができます。デザイナーは、まず Adobe InDesign® CS2 で印刷用コンテンツをパッケージした後、Adobe GoLive CS2 で開き、プレビューし、最適化し、それから XHTML Web ページとして自動エクスポートすることが可能です。また、このようなコンテンツを再利用した Web デザインに、さらに Adobe GoLive CS2 で手を加えて、サイト管理を行うことができます。スマートオブジェクトサポートも拡張され、「お気に入り」アイコン（ファビコン）を、簡単に作成することができます。「お気に入り」アイコンは Web サイトのブランドを強調するために使われる、Web ブラウザの「お気に入り」または「ブックマーク」メニューで、ページのタイトルとともに表示されるイメージです。さらに、Adobe GoLive CS2 には生産性を向上させ、イメージを膨らませ、ひらめきを得るためのハブとなる Adobe Bridge も搭載されています。さまざまなマルチビューのファイルブラウジングと、Adobe Creative Suite2 の構成製品すべてにわたってのスムーズなインテグレーションを提供します。また、Adobe Bridge からロイヤリティフリーの広範なストックフォトを直接 Web やモバイルのオーサリングワークフローに組み込む Adobe Stock Photos（詳細は Adobe Stock Photos 発表プレスリリースをご参照ください）へアクセスすることができます。

## 必要システム構成

### Macintosh 版

- PowerPC® G3、G4、G5 プロセッサ※
  - Mac OS® X v.10.2.8 ~ 10.4 (10.3.4 ~ 10.4 を推奨)
  - 192 MB 以上の RAM (256MB 以上を推奨)
  - CD-ROM ドライブ
  - 700MB 以上の空き容量のあるハードディスクドライブ
  - 1024 × 768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
  - 16bit 以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bit カラー以上を推奨)
  - マルチメディア機能を使用するには QuickTime 6.5 が必要
  - プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
  - Adobe Stock Photos や付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続
- ※ PowerPC G5 には Mac OS X 10.3 以上が必要です

### Windows 版

- インテル® Pentium® III または 4 クラスプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows 2000 日本語版 Service Pack4、または Windows XP (Service Pack 1 または 2)
- 192 MB 以上の RAM (256MB 以上を推奨)
- CD-ROM ドライブ
- 700MB 以上の空き容量のあるハードディスクドライブ
- 1024 × 768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit 以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bit カラー以上を推奨)
- マルチメディア機能を使用するには QuickTime 6.5 が必要
- プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photos や付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続

### アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを製作、管理、配信するためのソフトウェア ソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。